

JWFファンド2021 支援先 概要

3.Kaptolla村への給水所(水キオスク)の設置(ケニア)

- 実施団体:Ufanisi Support Group (USG) (#099)
- 実施地:ケニア Bungoma県 Kaptolla村の市場
- プロジェクト予算:1,805ドル(JWFファンド1,500ドル、受益者305ドル)
- 受益者数:女性250人
- 実施地の水問題:

Kaptolla村に住む250世帯は貧困と水不足に苦しんでいる。村にある市場では、各自が育てた野菜などを販売し、生活に必要なものを購入している。この市場には安全な水が無く、汚染された水に起因する病気が発生し、市場が閉鎖されようとしている。女性たちは、村から最大2.5キロ離れた水源から水を汲む、または高額で販売される水を購入している。水の費用や病気の治療に収入の3割以上を費やすため、貧困状態から抜け出すことができない。



汚れた水源で水を汲む女性



水キオスクを設置する予定の市場

- 主な活動内容:関係者とのミーティング(プロジェクト開始時)、給水所(水キオスク)と配管1キロの設置、水利用者組合の設立、維持管理と衛生に関する啓発活動、水質検査
- 特長(持続性):水公社からの給水と技術者の派遣。キオスクの水は少額で販売し、売り上げは利用者組合員が管理する。